

りそな 経済フラッシュ

(米国FOMC)

◎注意事項をよくお読み下さい



○概況

- ◆ 政策金利は据え置き。FF金利が誘導水準目標の上限近辺で推移していたことから**超過準備預金金利**を0.05%引き下げ
- ◆パウエルFRB議長は「現在の政策スタンスは適切」として利上げ・利下げどちらの方向に動く必要がないことを強調。金融市場の織り込む年内の利下げ観測はやや後退

- ✓ FRBは4/30-5/1に行われたFOMC（連邦公開市場委員会）にて、**政策金利を据え置いた。**
- ✓ 声明文では、1-3月GDPが上振れたこともあり、**経済活動は「堅調」と10-12月GDPを受けた「弱い」との表現から上方修正させた。**一方、**物価の見方については下方修正。**食料品やエネルギーを除いたインフレ率は、従来の「2%近辺」との表現から「2%を下回っている」とした。
- ✓ 政策金利であるFF金利が誘導目標水準の2.25-2.50%の上限近辺で推移していたことを踏まえて、**超過準備預金金利（IOER）を0.05%引き下げた。**利下げではなく、FF金利を誘導目標水準で推移させるための**テクニカルな修正。**
- ✓ 9月にバランスシートの縮小を停止させるのに伴い、今後のバランスシート構成の方針について、短期債を中心とするか、長期債を中心とするか等の議論については、今回は決着はしなかった。
- ✓ パウエルFRB議長は記者会見で「**現在の政策スタンスは適切**」とし、**利上げ・利下げどちらの方向に動く必要もないことを強調。**足もとのインフレ率は下振れているものの、資産運用サービスや衣料品価格の押し下げといった一時的要因が主因であり、極端な変動を除いた基調でみるとそれ程下がっていないとした。
- ✓ パウエルFRB議長の記者会見を受けて、**金融市場が織り込む年内の利下げ観測はやや後退した。**

【FOMC参加者の見通し（3月時点）】

	FRB見通し（中央値）			
	2019	2020	2021	長期
実質GDP	2.1 ↓	1.9 ↓	1.8	1.9
12月時点	2.3	2.0	1.8	1.9
失業率	3.7 ↑	3.8 ↑	3.9 ↑	4.3 ↓
12月時点	3.5	3.6	3.8	4.4
PCEインフレ率	1.8 ↓	2.0 ↓	2.0 ↓	2.0
12月時点	1.9	2.1	2.1	2.0
FFレート	2.4 ↓	2.6 ↓	2.6 ↓	2.8
12月時点	2.9	3.1	3.1	2.8

【FFレート見通し内訳—FOMC参加者の人数】

	今後の利上げ回数	2019		2020		2021		Longer run	
		12月	3月	12月	3月	12月	3月	9月	12月
3.750									
3.625	5回			2		2	1		
3.500								1	1
3.375	4回			3	1	1	1		
3.250								1	1
3.125	3回	6		4	2	6	1		
3.000								5	4
2.875	2回	5	2	6	3	4	4		
2.750	2020年末							5	4
2.625	1回	4	4	1	4	3	5		
2.500								4	6
2.375	現在	2	11	1	7	1	5		
2.250									
平均値		2.846	2.493	3.066	2.669	3.007	2.743	2.844	2.797
中央値		2.875	2.375	3.125	2.625	3.125	2.625	2.750	2.750

今回FOMCで提示された中央値の利上げベース

中央値

【出所】FRB

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。